

祝 国指定史跡 鳥取城跡

ぎ ほ し ばし  
擬宝珠橋復元完成式



日時 平成30年10月8日(月) 午前10時30分 開式  
場所 史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事堀内仮設工事ヤード

鳥 取 市

史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事竣工記念行事実行委員会

## 式次第

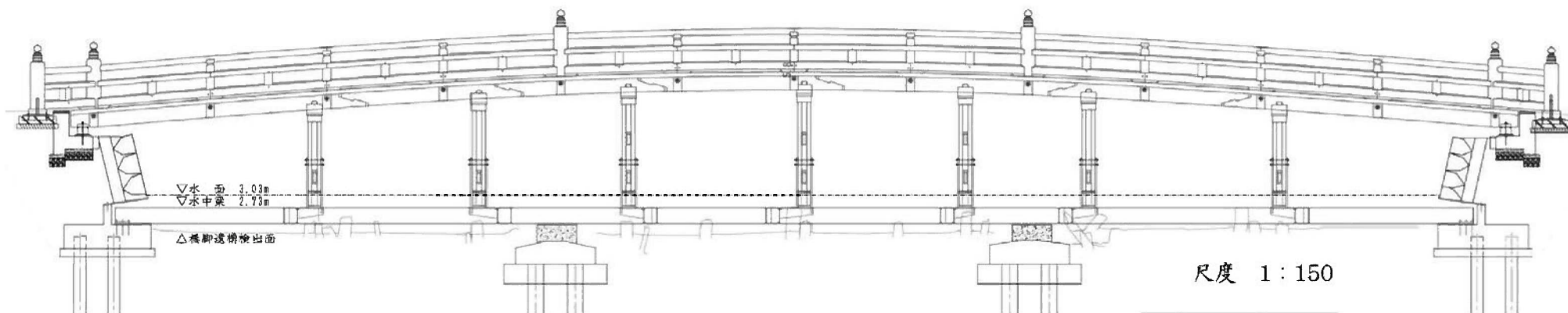
1. 開式のことば
2. 市長あいさつ 鳥取市長 深澤 義彦
3. 経過報告 鳥取市教育長 尾室 高志
4. 感謝状贈呈 設計・監理 株式会社文化財保存計画協会  
代表取締役 矢野 和之 様  
施工 戸田建設株式会社  
代表取締役専務執行役員 藤田 謙 様
5. 来賓紹介
6. 祝 辞 鳥取池田家第16代当主 池田百合子 様  
衆議院議員 石破 茂 様  
参議院議員 舞立 昇治 様  
鳥取県知事 平井 伸治 様
7. テープカット
8. 渡り初め 山国隊軍楽保存会 様・鳥取歴史振興会 様

## 擬宝珠橋復元の概要

1. 整備経緯

平成17年度	保存整備基本計画策定
平成18年度	保存整備実施計画策定
平成23年度	発掘調査
平成25・26年度	基本設計
平成27年度	実施設計
平成28年度	復元工事着手
平成30年度	復元工事完成
2. 整備概要

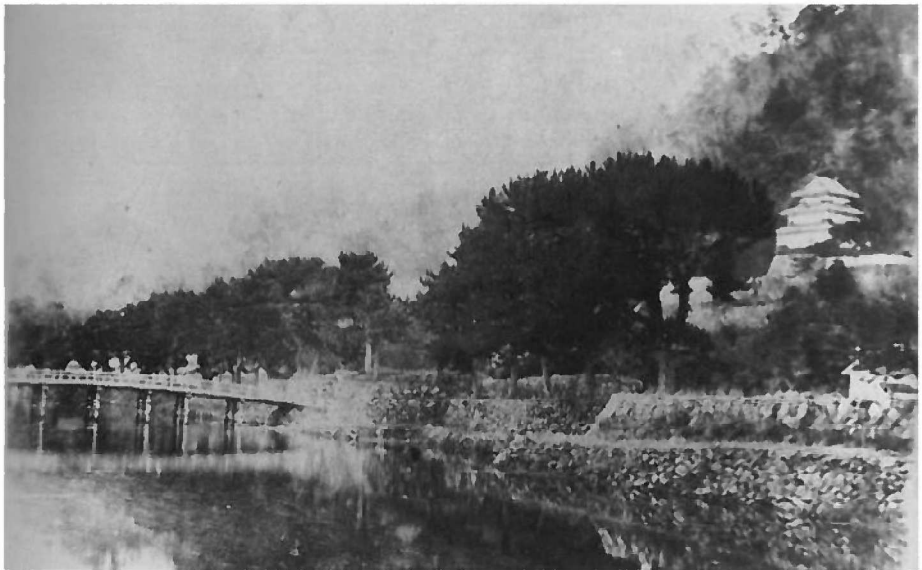
種類	木造反橋欄干付
寸法	橋長：36.652m(文化庁が認めた国内最長の復元橋) 橋幅：6.000m
木材	橋脚部・床板：岩手県南部産栗材 梁・桁・高欄部：静岡県天竜産桧材
備考	水面下基礎部にステンレス製水中梁を用いて遺構保護を行うという日本初の工法により復元。



## 擬宝珠橋の歴史

擬宝珠橋は、鳥取藩 32 万石の居城の大手橋として、姫路から移った池田光政（後の岡山池田家初代、鳥取城に 15 年間在城）と共に、姫路城の大天守を築いた播磨地方の職人らの手によって元和 7 年（1621）に創建されたと考えられています。その後、寛永 9 年（1632）には鳥取池田家に継承され、幾度かの架け替えを経て明治 30 年（1897）まで存続しました。

この橋は、鳥取城の正面玄関の入口で、登城に利用されたほか、藩領各地への距離の起点にもなっていました。また、橋の上では、端午の節句には若殿が陣取り、堀端で繰り広げられる「幟遶り（のぼりねり）」（馬に乗った武士を町人が竹やりなどで威嚇する祭り）を見物したり、夏の夜には納涼の宴が催されたりするなど、儀礼の場としても活用されました。



在りし日の擬宝珠橋（左）と二ノ丸三階橋（明治 12 年（1879）、現吉川経家銅像前周辺から撮影）